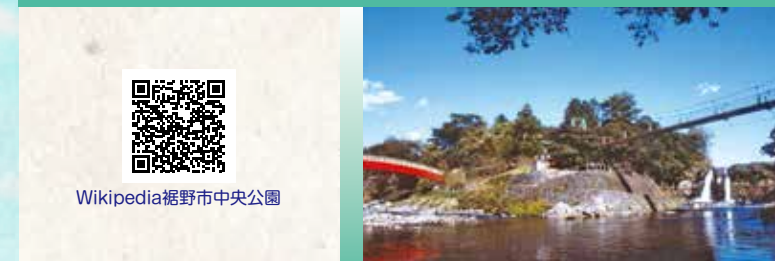


# 裾野市中央公園



## 五龍館ホテル



佐野瀑園五龍館佐野ホテル全景

明治22年(1889年)東海道線佐野駅(現裾野駅)が開業したことに伴い、明治24年(1891年)頃に木造平屋で開業、数年後に洋館部分を増築しました。

東京から車で4時間ほどで到着する佐野や沼津は、箱根や熱海に比べ交通の便がよく「東海偉観」をキャッチフレーズに手軽なりゾート地として多くの集客がありました。また、中央公園は当時「佐野瀑園」と呼ばれ、大正天皇や昭和天皇(いずれも皇太子時代)など多くの皇族方が来訪されました。

昭和9年(1934年)、丹那トンネル開通により東海道線が熱海ルートに変更され旧ルートが御殿場線になったことにより五龍館ホテルは衰退していきました。



昭和天皇(皇太子時代)行啓

## あらまし

中央公園は、五竜の滝を中心に整備された日本式庭園です。明治24年頃に当地に開業した五龍館佐野ホテルが前身となっています。古くから東海の名園と称えられ、観光の立ち寄り場所として、また市民憩いの場として親しまれています。歌人の若山牧水や小説家の新田次郎などもこの地を訪れ、作品の舞台に五竜の滝や愛鷹連峰が登場しています。

園内には五竜の滝をはじめ、旧植松家住宅や吊橋などの見どころがあり、散策をしながら、概ね30分~45分程度で1周することができます。北側入口近くの観光協会事務所では周辺の観光案内や地元おすすめのお土産販売を行っており、南側入口近くの売店では富士山型さつま揚げやすその水ギョーザなどのご当地グルメが楽しめます。



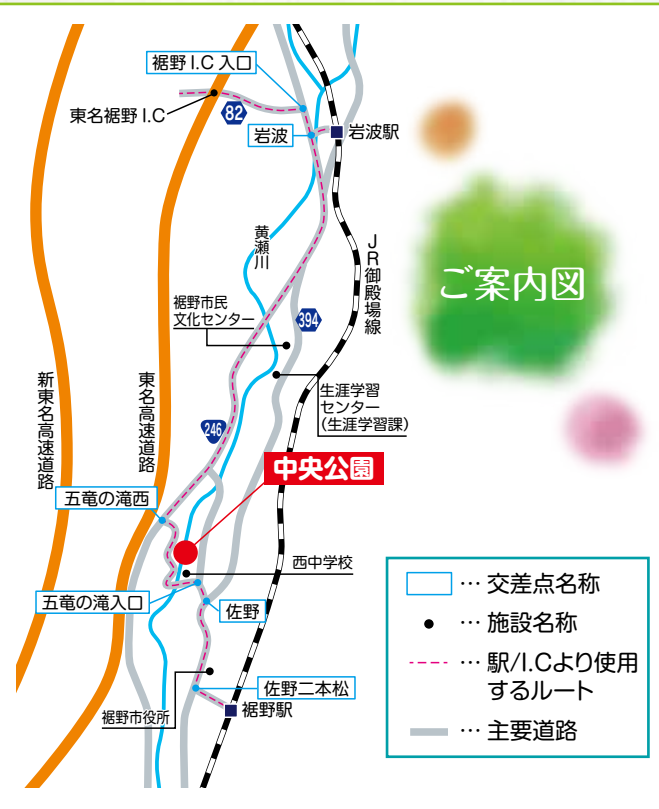
こいのぼり掲揚

こどもの日前後には、滝を背景に数十匹ものこいのぼりが空を泳ぎ、新緑に包まれた5月には「五竜みどりまつり」が開催されます。



東海の偉観といわれた佐野瀑園

## ご案内図



- 所在地 〒410-1116 裾野市千福7-1
- 開園時間 8:30~17:00 (4/1~9/30)  
8:30~16:00 (10/1~3/31)
- 休園日 年末年始(12/29~1/3)
- 駐車場 約50台(バス用駐車場あり)
- アクセス JR 裾野駅から徒歩26分(約2km)  
東名裾野ICから車で約10分  
車で国道246号バイパス「五竜の滝西」交差点を曲がりすぐ(上り右折、下り左折)  
すその一筋 裾野・富岡線  
「中央公園前」下車すぐ

## お問い合わせ

裾野市観光協会(中央公園内)  
TEL 055-992-5005 / FAX 055-992-7300



Wikipedia 裾野市中央公園

## 県指定天然記念物

### 五竜の滝



Wikipedia五竜の滝

幅約100m、高さ約12m。溶岩の断崖を流れ落ちる5条の滝で、静岡県の天然記念物に指定されています。黄瀬川の本流にかかる3条を雄滝、支流にかかる2条を雌滝と呼び、向かって左から「雪解」「富士見」「月見」「銚子」「狭衣」と名付けられています。5条の滝はいずれも同じ一枚岩の上を流れ落ちています。約1万年前の新富士火山三島溶岩流の末端であり、何層もの溶岩層が重なっている様子を見ることができます。

園内を散策しながら、斜め上から、正面から、あるいは飛沫を感じるほど近くから、様々な角度からご覧ください。



雄滝（雪解・富士見・月見）

雌滝（銚子、狭衣）

バスはこちらの駐車場をご利用ください  
※団体で来園する場合は公園使用届出書を市役所産業振興課にご提出ください。



市HP「中央公園」

## 国指定重要文化財

### 旧植松家住宅



Wikipedia旧植松家住宅

18世紀初め頃（江戸時代前期）に建てられたといわれる農家住宅です。

昭和48年に国の重要文化財に指定され、指定後に保存のため当地に移築されました。

植松家は江戸時代に代々名主を務めた名家で、建物からは当時の農家住宅の特徴を見ることができ、その暮らしぶりを現代に伝えています。曲がりくねった梁や広い土間、いろりのある広間、奥の座敷など、ぜひ上がってご見学ください。

なお、建物は展示会やイベントなどで利用することもできます。

【旧植松家住宅に関する問合せ】裾野市生涯学習課（055-994-0145）



旧植松家住宅

## 太鼓橋「夢の橋」と吊橋「五竜のかけはし」

五龍館佐野ホテルの前の橋は太鼓橋から吊橋へと何度か架け替えられており、当時をイメージして昭和53年に長さ34mの太鼓橋「夢の橋」や長さ63mの吊橋「五竜のかけはし」が整備されました。吊橋からは、五竜の滝を正面から見ることができます。※吊橋は定員5名です。



吊橋「五竜のかけはし」



太鼓橋「夢の橋」



## 若山牧水歌碑

歌人、若山牧水は、大正時代から昭和の初めにかけて、足繁く裾野に通い、数多くの歌を残しています。牧水は五龍館に宿泊し、歌集「野なかの瀧」「溪間の春」「麦の秋」を創作しました。

裾野市内には牧水の歌碑が6基あり、中央公園の歌碑もその一つで、「富士が嶺やすそのに來たり仰ぐときいよよ親しき山にぞありける」と刻まれています。また、裾野市民文化センターには若山牧水展示室があります。



若山牧水歌碑